

1 こま
困ったときの連絡先

(1) 火事になったとき ☎119

火が出たら次のことをしてください。

- ・大きな声で「火事だ!」と叫んでください。
- ・近くの人に教えてください。
- ・119に電話して、消防車(火を消す車)を呼んでください。
- ・出口に気をつけて、消火器(火を消す道具)や水で火を消してください。油が入った鍋に火がついているときは、水をかけてはいけません。
- ・火が大きくなったらすぐに逃げてください。



(2) 病気や怪我のとき ☎119

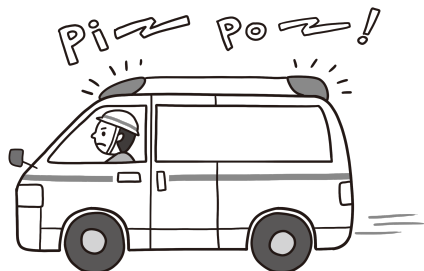
急な病気や大きな怪我をしたときは、119に電話して救急車(急な病気や怪我をした人を病院に運ぶ車)を呼んでください。

そのときは、来てほしい大田区から始まる町の名前、番地、部屋の番号を正しく伝えてください。

〈注意〉

救急車は無料(0円)です。次のことに気をつけてください。

- ・急な病気や大きな怪我のときだけ呼んでください。
- ・軽い怪我や急な病気ではないときは、タクシーを使ってください。



(3) 事故や犯罪に遭ったとき ☎110

警察に電話してください。

外国語での相談は「警視庁外国人専用相談」で受け付けています。

➔ ☎03-3503-8484 月曜日から金曜日までの8時30分から17時15分まで



災害 (地震 (地面が揺れる)、台風 (とても強い風と雨)、大雨 (たくさんの雨) 等) に備えて

2

【問合せ先】 防災危機管理課 ☎ 03-5744-1235

(1) 地震に備える

火山が多い日本では、地震が多く起こります。地震に備え、いつも準備しておいてください。

① 地震に備えて準備する

- 災害が起こったときに何をするか、家族で話し合ってください

大きな地震が起きると、次のようなことがあります。

- ・電車、バス、飛行機が止まります。
- ・道が車と人でいっぱいになります。
- ・電話がかかりづらくなります。

このようなときに備えて、

- ・出掛けるときは、あなたが行く所と電話番号を、家族の人に伝えてください。
- ・家族が集まる場所や連絡する方法を決めてください。



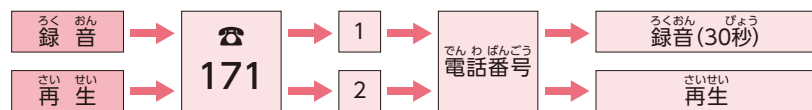
- 災害用伝言ダイヤルを利用する

地震はいつ起こるかわかりません。家族と離れてしまったら災害用伝言ダイヤルを使って連絡が取れるようにしておきましょう。どんなことを伝えるかはいつも家族で話し合っておくことが大切です。

(利用方法)

災害用伝言ダイヤル[171]に電話をします。声の説明を聞きながら操作します。伝えたいことを録音したり録音された伝言を聞いたりできます。伝言は30秒間録音できます。あなたがいる場所の情報などをわかりやすく伝えましょう。

災害用伝言ダイヤルの他にもスマートフォン・携帯電話だけで使える災害用伝言板もあります。くわしいことはあなたが契約しているスマートフォンや携帯電話の会社に聞いてください。



- 自分の家が安全か確認(よく見る)してください

- ・火を使う台所の周りに燃えやすい物がないか、確認してください。
- ・大きな家具(タンス、冷蔵庫、棚など)が倒れないようにしてください。
- ・家具が倒れたり物が上から落ちないようにしてください。

- 防災訓練(災害が起きたときのために、安全に逃げる練習や、火を消す練習をすること)に参加してください

ほとんどの自治会や町会(近くに住んでいる人たちが作るグループ)では、公園や学校で防災訓練をしています。防災訓練に参加して、災害のときに行動できるようにしてください。また、普段から近所の人たちと交流してください。

② 避難(災害が起きたときに安全な場所へ逃げること)

- 大きな地震が起きたときは・・・

- ・急いで外に飛び出さないでください。
- ・火を使っていたら、火を必ず消してください。もしも火事になってしまったら、近くの人に助けを求めて、火を消してください。
- ・ドアや窓を開けて、出口を作ります。自分の安全を考えてください。
- ・コンクリートの壁や自動販売機(飲み物を買う機械)から離れてください。
- ・上から落ちてくる物に気をつけてください。
- ・車を運転しているときは、道の左側に車を停めてください。
- ・車を離れるときは鍵をつけたままにしてください。

- 大きな火事が起きたときは・・・

近くの一時集合場所(公園、学校など)に集まります。そこから集団で決められた広い地域の避難場所(地震で起きた火事から命を守るために逃げるところ)に逃げます。

- 地震で家が壊れたときは・・・

しばらく避難所(災害で家が壊れた人が行くところ)で生活します。大田区は、区立の小学校、中学校等の91か所を避難所に指定しています。避難所は自治会や町会(近くに住んでいる人たちが作るグループ)ごとに決まっています。避難所には水や食べる物などがあります。避難所では決まりを守ってください。



おおた く、ひなんじょ
大田区の避難所



○地震が起きたときは、次の方法で正しい情報を集めてください。
・ラジオ ・テレビ ・大田区の無線放送塔の情報
間違った情報に、気をつけてください。

次のウェブサイトからも情報を集めてください。

・大田区のホームページ



・大田区防災ポータル



・大田区防災アプリ



・国際都市おおた協会のホームページ



・内閣府のホームページ

「災害時に便利なアプリとWEBサイト(多言語)」



(2) 台風や豪雨(はげしい雨)に備える

日本では夏と秋に、よく台風が起こります。台風のと看雨や風に、注意してください。

最近では、短い時間にたくさん雨が降り、災害になることが増えています。

台風・豪雨のときは、外に出ないようにしてください。天気情報を注意して聞いてください。

台風・豪雨のときは、低いところに水が流れてきます。逃げるのができなくなることがあります。近くの2階以上のしっかりした建物や大田区の小学校・中学校など、安全な所へ逃げてください。嶺町小学校、多摩川小学校は、台風・豪雨のときには避難できません。

災害が起こる前に準備することで、被害を少なくすることができます。

★「準備するもの(P.4)」を参考にして、必要なものを準備してください。

**「おたくはざードマップ」**

地震や台風などの災害が起きたときに危ない場所が書かれている地図が「ハザードマップ」です。「ハザードマップ」を見れば避難所(みんなが逃げるところ)の場所もわかります。

対応言語：英語、中国語、やさしい日本語

主な配布場所：大田区役所、特別出張所(P.23)

発行：大田区防災危機管理課 ☎03-5744-1235

**「わが家の防災チェックBOOK」**

地震や台風・豪雨などから身を守る方法や、準備について書いています。

対応言語：英語、中国語

主な配布場所：大田区役所、特別出張所(P.23)

発行：大田区防災危機管理課 ☎03-5744-1611

**「区民安全・安心メール」**

天気、地震、津波の情報をEメールで送ります。

対応言語：英語、中国語、ハングル、タガログ語

詳しいことは、大田区のウェブサイトをご覧ください。

